

会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	会議録の 作成方法	＜開催日＞令和元年 10 月 22 日（火）
卜田委員長 東城副委員長			＜時 間＞15：00～15：50
＜傍聴人数＞ 42 名	公開	要点 記録	＜場 所＞ 市役所新館 4 階 第 2 委員会室

＜名称＞ 第5回岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会

＜出席者＞

◇岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会委員（○出席、■欠席）

足立	大城	卜田	東城	沖藤	田中
○	○	○	○	○	○

◇事務局

【子育て応援部】山本子育て応援部長、池宮子育て施設課長、倉橋参事、片山主幹、上野担当長、達担当長、松阪担当長

【教育委員会】藤浪教育総務部長、高井教育総務課長、山本学校管理課長、谷学校教育部長、井上参事、金永主査

【財務部】坂井財務部長、渡辺理事、新内行財政改革課長

【保育所】杉本所長、鈴木所長

【幼稚園】永野園長、石原園長

＜議題等＞

1 開会

2 議題

（1）答申（案）について

（2）その他

<概要>

- 議題（１）（２）について事務局から説明
- 事務局の説明を受け、質疑・意見交換

■議案（１）の意見交換

【ト田委員長】

第5回目のあり方委員会ということで、本日が最終になります。本日の議題は「答申(案)について」となっています。前回の会議では、答申(案)について色々ご意見をいただきましたが、本日は、その意見を受けまして修正した答申(案)について議論いただきたいと思っています。本日が最終のあり方委員会になりますが、よろしくお願いします。まずは本日の資料の説明をお願いします。

【松阪担当長】

(配布資料について事務局説明。主な内容は以下のとおり。)

資料No.	資料の概要
1	前回での意見を受けて答申【案】を作成。修正箇所にはアンダーラインを記している。

【ト田委員長】

説明が終わりました。前回意見のありました箇所について、重点的に説明をいただきました。委員の皆さん如何でしょうか。お気づきの点がありましたら、ご発言をお願いします。

【田中委員】

9頁「障害」について“害”ではなく、平仮名の方が一般的で宜しいのではないのでしょうか。

【ト田委員長】

その方が良いかと思えます。委員の皆さん宜しいでしょうか。

(異議なし)

ではその様に修正いたします。他に如何でしょうか。

私の方から、一点議論いただけたらと思う箇所があります。9頁に「誰でも等しく教育・保育を受けることが出来ること、それを保障する必要があることから」、「誰でも等しく教育・保育を受ける権利を保障する必要があることから」とした方が良いのかなと話していました。今のままの方が平易で伝わりやすいという考え方もあるので、委員の皆さんにご意見をいただけたらと思っています。

【足立委員】

参考として聞いていただけたらと思えます。私としては権利の方が望ましいと思えます。まず本文の流れから見た場合、“こと”で切れている箇所が3箇所ありますので、特に問題なければ権利としても構わないと思えます。また平易である文章が相応しいのか、どうなのか、その視点で考えた場合、決して平易な文章でなくても構わないと思えます。

必ずしも権利でなければならないというものでもありませんが、文章から見た印象としては権利の方が良いのではないかと思います。

【東城委員】

権利についてですが、間違った内容ではありませんので、そちらの方が良いと思います。

【大城委員】

権利を保障するということは、ある意味公としての大切な役割でもありますので、権利でまとめる方が良いと思います。

【沖藤委員】

権利を保障するとした方が、文章もすっきりしますし、内容も変わらないので良いと思います。

【ト田委員長】

そうでしたら「権利を保障する」という表現に改めて宜しいでしょうか。

(異議なし)

ではその様に修正いたします。他に如何でしょうか。

【田中委員】

9頁の後半部分に「考えます」という文言が2つあるので、別の表現は出来ないものかなと思います。

【東城委員】

重なっている印象はありますが、私は違和感を感じませんでした。

【大城委員】

委員会としての意見を述べる観点から「考える」で良いのかな、と思います。

【沖藤委員】

多い印象はありますが、変える必要までもないのかな、と思います。

【足立委員】

その箇所の上にも「重要との考えから」とあり、重複している印象があるのかな、と思います。であるならば、こちらを「重要であるという視点から」に改めてみては如何かと思います。

【ト田委員長】

そうですね。足立委員からの提案に改めて宜しいでしょうか。

(異議なし)

ではその様に修正いたします。3点修正させていただきます。もし細かい文言等の修正があった場合、最終的には、私に一任いただき、事務局で調整・修正の上、確定させた内容で、基本的にはこの方向で、あり方委員会としての諮問に対する答申としたいと思いますが、それで宜しいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。では各委員のご了承をいただきましたので、この案を答申として確定させていただきます。

これを持ちまして岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会の審議は終了となります。委員の皆さん、ありがとうございました。

これまでの審議を振り返りまして、委員の皆さんから一言ずつご感想をいただきたいと思います。

【足立委員】

この度は貴重な機会をありがとうございました。私は地方財政を専門にしており、文部科学省、総務省、国土交通省といった省庁と関わっています。文部科学省では教育に関するプロジェクトの検討、総務省では地方公共団体のあり方、国土交通省では公共施設をどうすべきなのか、といった議論があります。

そういった議論の中で共通しているのは、市・町のあり方、それぞれ特徴があるということです。岸和田市については“1小学校1幼稚園”といった歴史がある中で、小学校との接続をスムーズにやってきた、なおかつ、行政のサポートが強い、といった背景があります。本委員会においても子育て応援部、教育総務部、財務部に加え、幼稚園、保育所の先生方、また傍聴席も含め、本当に現場の先生が多く参加されています。地域が一体となり、行政に参加したい、という意味がある中で、今後どうあるべきなのでしょう。

この先を考えた場合、地方財政は非常に厳しいです。そういった中で老朽化した建物を、民間を活用していこう。しかしながら民間を入れた場合でも、あくまでも公のあり方ですね。岸和田市の現状を見た場合、支援が必要な児童、低所得の家庭、今後外国人も増えていくのではないかと。そういった中で、幼稚園と小学校との接続を持っている岸和田市の特徴を鑑みた場合、岸和田市の歴史を大事にしながら、なおかつ、現場の先生も大事にしてくださいような民間事業者の選別が重要だと思います。加えて、岸和田市にはビジョンがあります。6つの地域に根付いたビジョンがあるならば、それを踏まえていただくような事業者選択が大事です。

この後の更なる一歩は岸和田市にとって非常に重要です。岸和田市では幼稚園・保育所の一体化は大きな一歩です。その一歩が大きい分、慎重に進めていただきたいと思います。またその一歩を是非成果として出していきたいと思います。10年、20年先を見据えた一歩ではありますが、公の立場を大事にしながらの一歩です。公を残しつつ、民間活力を活かす、といったバランスが必要だと、この委員会でも議論があったかと思いますが、是非とも成果を出していきたいと思います。

【大城委員】

私自身がスウェーデンを中心とした公民のあり方、どうすれば質を担保することが出来るのかという点について研究をしています。今回岸和田市の政策形成の一部に関わられたこと、本当に光栄に思っています。これから先は、市が方針を作り、パブリックコメントを通じて、市民の方が方向性を定めていくことと思いますが、子どもたちにとっては今通っている園が、公立なのか民間なのかは関係ありません。その子ども自身が、伸び伸びと成長出来る場を保障してあげることが大切です。どのような形であれ、子どもの成長をしっかり支える場であって、今だけではなく、将来の姿を大切にしていきたいと強く思っています。

また養成校の教員としてですが、卒業生が夢と希望をもって幼児教育・保育に関わりたい、子どもたちの成長を支えたい、と思って現場に出ていく学生が、安心して働ける場であって欲しい、と思っています。

今後どのような方向になるのか気になりますが、どのような形であれ、子どもとそこで働く先生方にとって、良い環境になることを願っています。

【沖藤委員】

私は一岸和田市民、一母親としてこの委員会に参加させていただきました。こういった機会をいただき、ありがとうございました。私の意見も稚拙で、委員長や委員の皆さんにもフォローしていただき、暖かく受け止めてもらいました。

私は今、小学生と園児の母親として育児をしています。これから子育てをしていく方にとって、良かったと思ってもらえるよう、ここからスタートになりますが、市の方々には引き続き、頑張ってもらいたいと思います。子育てしやすい岸和田のまちにして欲しいと思います。そのためにも、実現目指して頑張ってもらいたいと思います。

【田中委員】

どうもありがとうございました。短い間でしたが、岸和田市について、また教育について学べる機会をいただき、とても感謝しています。待機児童の問題、市の財政、少子化といった課題もありますが、幼稚園や保育所が今まで培ってきたものを失わないよう、個別計画を検討していただきたいと思います。これから子育てをしていく方が、安心して楽しく子育てしていければと思っています。

【東城委員】

この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。本日、答申という形で委員の皆さんの意見を反映出来、今日を迎えることが出来たと感じています。本当に委員皆さんの意見が集約されていると感じています。

先程足立委員もおっしゃられていたように、まずは最初の一步に舵が切れたのかな、と思います。岸和田市のこれからを、と考えた時にスモールではありますが、ステップになっているのかな、と思います。それぞれの立場の方が、それぞれの想いで受け止め、次世代の子どもたちの教育・保育を考えていくところに目を向け、地域的なこと、財政的なことを踏まえながら、未来に向かって考えていく機会を検討出来たと感じています。次はそれぞれの立場で、教育・保育を発展させていくということが、答申の中から見出せたらと思っています。

また認定こども園になることによって、幼稚園、保育所で実施していたこれまでの伝統、“1小学校1幼稚園”が途絶えるというわけではありません。名前が変わる園があるかもしれませんが、これまでしてきたことを、きちんと継承していくことが大事です。

【ト田委員長】

最後に私から、本当に皆さんありがとうございました。

こういう類の委員会は非常に辛い作業だと思います。今まであった幼稚園、保育所がなくなるかもしれない。そこで育った子どもたち、保護者、先生にとって記憶のある場所が変わっていくということなので、責任の重さとしんどさを常に感じながら、委員の皆さんで議論してきたと思います。一番良いのは、今の形で建物が新しくなってということですが、どうしてもそれが出来ない状態であるということ、我々は認識せざるを得ない状況を知り、その中で、最大限納得出来る形は何だろうか、ということ議論してきたと思います。また幼稚園、保育所の先生方も来ていただき、ご意見もいただきました。議論を踏まえ、最大限出来ることは何だろうか、どうすれば良いだろうか、と本当に丁寧に議論をいただいたと思います。

そういった意味では委員の皆さんには、責任がある作業、話し合いを今日まで担っていただき、ありがとうございました。その中で私が意識していたことは、公の役割については、大事な話だったと思っています。こういうあり方委員会の時、先ず考えなければならないことは、一番しんどい所にいる子どもたちの保育の権利を守ってあげることだと思っています。その部分は、人数が少ないがゆえに見落とされやすいのですが、だからこそ守ってあげなければなりません。場合によれば、コスト面等を考えると難しい部分があるがゆえに、公が担わなければならない部分だと思っています。

これまでの岸和田市のお話を聞いていると、地域の中で子どもを育ててきた面があります。縦の関係、地域のつながりの中でということ、そこを大事にしながら一番しんどい位置にいる子どもたちが、安心出来て、絶対にここなら大丈夫という場所が守られていることが大事だと思います。だから公にしか出来ないことがあると思っていますし、民だからこそ出来ることもあります。その点については、今回答申の中でも、書いたと思っています。

今後、答申を受けて認定こども園に向かうかどうかは、今後の議論になるかと思いますが、認定こども園に向かうプロセスの中で、新たな公の役割が出てくるのではないかと考えています。そこを是非意識して、岸和田市として担っていただきたいと思っています。その点は、是非丁寧に議論をしていただきたいと思っています。

認定こども園になるということは、これまで違う文化でやってきた幼稚園と保育所の先生が一緒にやっていくということです。かなり丁寧な話し合いがあって、実現するものですので、是非話し合いを良い形で進めていただけたら、と思います。話が蓄積されるということで、これまでの双方の良さが活きる、是非その点を目指していただきたいと思います。より良いものが集まった認定こども園を目指していただけたらと思います。

最後に事務局から挨拶の申し出がありますので、お願いします。

【山本部長】

8月に第1回の委員会をスタートしまして、この間は集中して議論をいただき、お忙しい中、ご出席いただき、また熱心に議論いただき、本当にありがとうございました。

子どもたちにとって、より良い教育・保育環境を提供することを根幹としながら、岸和田市の抱えている課題、本市の財政状況、地域の特性等、様々な角度から真摯なご意見をいただきました。またそれぞれの専門のお立場から丁寧に審議いただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今後答申を受けまして、市で具体的に進めていくことになりますが、今後状況が変化したり、新たな課題が見えてくることもあるかと思っています。

委員の皆様方にはおかれましては、お気付きの点がありましたら、ご意見いただけたらと思います。簡単ではございますが、委員の皆様には感謝の想いをお伝えいたしまして、挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

【ト田委員長】

ありがとうございました。最後に議案(2)その他につきまして、事務局から説明させていただきます。

(議題(2)今後のスケジュールについて事務局説明)

【ト田委員長】

以上で本日予定していた議案は全て終わりました。

これを持ちまして第5回岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会を閉会します。

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

副委員長
